

報 道 各 社 御 中

担当：札幌市消費者センター調査指導係 TEL 728-2111 FAX 728-2112
---

**平成 27 年度 年末年始における生活関連商品の需給動向・価格見通しについて**

札幌市では、生活に密着した食品や石油製品等の生活関連商品の価格の動向を的確に把握し、市民に情報提供するため、関係業界団体や事業者の協力を得て、年末年始における生活関連商品の需給動向及び価格見通しに関する調査を行いましたので、その結果についてお知らせします。

## 記

## 1 協力を得た業界団体及び事業者

- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| (1) 丸果札幌青果(株)   | (5) (一社)北海道 LP ガス協会石狩支部 |
| (2) カネシメ高橋水産(株) | (6) ホクレン農業協同組合連合会       |
| (3) 札幌食肉卸業協会    | (7) 北海道製麺協同組合           |
| (4) 札幌地方石油業協同組合 | (8) 日糧製パン(株)            |

## 2 調査時期

平成 27 年 12 月上旬

## 3 概要

## (1) 青果物

調査品目の 18 品目中、前年並みは 7 品目、安値は 2 品目、やや高値・高値は 9 品目であった。

天候の影響や生育状況により、前年並み・やや高値が多くなる見込み。

## (2) 水産物

調査品目の 14 品目中、前年並みは 5 品目、やや安値は 2 品目、やや高値・高値は 7 品目であった。

全般的に、円安の影響で輸入原料が高いが、市場的には厳しい価格設定で売らざるを得ない状況。高値については、海外需要の増加により国内市場に回らない状況で相場も吊り上げられている。

## (3) 畜産物

調査品目の 7 品目中、前年並みは 4 品目、やや安値は 1 品目、やや高値・高値は 2 品目であった。

国産牛肉は出荷頭数減による高値。国産鶏肉は品薄感が続いている。昨年末は 7 品目すべてがやや高値・高値であったが、今年はやや高値・高値は 2 品目となる見込み。

## (4) その他食料品

ラーメンはやや安値、もち米、パンは前年並み、黒豆、鶏卵、生そば、小麦粉はやや高値、そば粉は高値となる見込み。

## (5) 石油製品

プロパンガスは前年並み、灯油、レギュラーガソリン、軽油については安値が続く見

込みだが、政情や為替変動等の影響により先読みは難しい。供給量に関しては不足の懸念はない。

平成 27 年度 年末年始における生活関連商品の価格見通し 一覧表

(札幌市消費者センター)

	安値	やや安値	前年並み	やや高値	高値
青果物	ばれいしょ たまねぎ		みつば だいこん きゃべつ はくさい 長ねぎ きゅうり レタス	みかん 生しいたけ にんじん ごぼう れんこん 里いも ほうれん草 さつまいも	たけのこ(缶詰)
水産物		赤えび はまち	飯寿司 まぐろ たこ こんぶ スモークサーモン	新巻さけ 味付数の子 いくら いか 板かまぼこ	ほたて たらばがに
畜産物		国産豚肉	輸入牛肉 輸入豚肉 輸入鶏肉 ロースハム	国産鶏肉	国産牛肉
その他 食料品		ラーメン	もち米 パン	黒豆 鶏卵 生そば 小麦粉	そば粉
石 油 製 品	灯油 レギュラー ガソリン 軽油		プロパンガス		

※ 価格見通しの用語基準

前年並み = 前年同期比±5%未満

やや安値・やや高値 = 前年同期比±5～15%未満

安値・高値 = 前年同期比±15%以上

平成27年度 年末年始における生活関連商品の需給動向・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
青 果	みつば	前年並み	道内産は上川、渡島地区中心の入荷。 （水耕みつば）作付は前年並み。入荷量も前年並みを見込む。価格は前年並みの見通し。 （軟白みつば）作付はやや増反。入荷量は生育良好で増加の見込み。価格は前年並みの見通し。 府県産は愛知産の水耕みつばの入荷。作付はやや減反。入荷量は前年並みの見込み。価格は前年並みの見通し。
	だいこん		千葉、神奈川産中心の入荷。 作付は前年並み。作柄は好天に恵まれ概ね良好。
	きゃべつ		道内産は上川地方中心の入荷。作付は前年比やや減反も作柄よく大玉傾向。4、5玉中心の入荷見込み。府県産は愛知、茨城産の入荷。作付は前年並み、作柄よく大玉比率は高い見込み。
	はくさい		茨城産主力の入荷。作付は前年並み。作柄良く平年並みの入荷見込み。
	長ねぎ		群馬、埼玉産中心の入荷。やや遅れ気味も中旬以降は順調な入荷見通し。
	きゅうり		宮崎産主力の入荷で作付は前年並み。ハウス物は促成タイプ主力の入荷。寒波の影響がなければ前年並みの入荷量になると予想される。
	レタス		静岡、兵庫、香川産中心の入荷。作付は兵庫・静岡産は前年並み、香川産はやや減反。長雨により傷みが出ており日持ちがしないため、年末は入荷量によっては価格の急騰の可能性もある。
物	ばれいしょ	安値	後志、石狩地区中心の貯蔵物の調整出荷。男爵は変形・空洞が見られ、品質に懸念がある。全国的な相場安にて出荷見合わせの傾向がある。
	たまねぎ		空知、石狩、網走地区中心の貯蔵物の調整出荷。各地肥大良好で、平年を大きく上回る貯蔵量となっている。収量も多く、全国的な相場安にて出荷見合わせの傾向がある。

平成27年度 年末年始における生活関連商品の需給動向・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
青    果   物	みかん	やや高値	和歌山産主力で佐賀産の入荷。 （和歌山産）作況は昨年並みで、早生種までは着色・生育ともに良好で早めの出荷であった。それ以降の出荷品種は11月中旬以降の長雨で収穫の遅れ、浮皮、腐敗果の発生により、12月以降の入荷量は年末需要期に向かって減少傾向が見込まれる。 （佐賀産）一部黒点病の発生により、早生は前年に比べ1～2割程度生産量が減少する見込み。昨年同様小玉比率が高く、Mサイズ中心のSサイズの入荷となる見込み。
	生しいたけ		胆振、石狩、十勝、根室地区中心の入荷で、作付は前年並み。作況は、夏の培養期の高温障害によりやや発生不良が見られるが、年末は気温次第ではあるが概ね回復するものの、前年に比べ入荷減の見込み。価格は引き合いが強く前年よりやや高値の見込み。
	にんじん		千葉、熊本、埼玉産中心の入荷。各地低温などでやや出遅れていたが、回復傾向にある。順調な入荷が見込まれる。
	ごぼう		十勝、空知、石狩、後志地区中心の入荷。天候不順のためL・Mサイズ中心の入荷予定。
	れんこん		茨城県産主力の入荷で作付は前年並み。8・9月の天候不順によりかなり不作で入荷量は前年並よりやや減少の見通し。価格は前年並みからやや高値傾向。
	里いも		宮崎、鹿児島、埼玉、千葉産中心の入荷。九州産は雨・低温などの影響を受け、かなり収量が減少しているため高値の見込み。埼玉産は生育期の干ばつ等の影響のため、やや高値傾向だが、ほぼ前年並みの出荷を見込む。千葉産は作付減反、収量も減少。九州産から千葉産への産地切り替えのため引き合いが強く、昨年よりも高値を予想。
	ほうれん草		群馬、埼玉産中心の入荷。現状は11月が温暖傾向だったため2～3週間早い生育となっており、年末は前年より入荷減の見込み。
	さつまいも		茨城、徳島産主力の入荷。 （茨城産）「紅あずま」「紅はるか」は2L・Lサイズ中心の入荷見通し。 （徳島産）「金時」はL・Mサイズ中心の入荷の見込み。
	たけのこ （缶詰）	高値	中国産主力の入荷。入荷量は前年並みの見通し。価格は高値の見込み。国産は福岡産主力の入荷。入荷量は前年並みの見通し。価格は高値の見込み。

平成27年度 年末年始における生活関連商品の需給動向・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
水	飯寿司	前年並み	原料は高値だが、製品価格は昨年並み。
	まぐろ		天然物は漁獲量が減少するが、価格前年並み。国内養殖本鮪は供給不足でやや高値。国外養殖本鮪はメキシコ産は安定供給、地中海産は入荷増でやや安値が予想される。
	たこ		水揚げが不安定なことや冷凍煮タコの浜在庫も少ない状況から価格は高騰する。通常でもこの時期価格は普段より高騰するが、価格自体は前年並み。
	こんぶ		日高：やや安値、道南・道東：やや高値 前年度の在庫が残っているため、前年並みかやや安値になっている。
	スモークサーモン		紅鮭：アメリカ産・高値、ロシア産・安値 秋鮭：前年同様
産	赤えび	やや安値	中国輸出が落ち着き、国内搬入が多くなり、価格は昨年よりやや安値と思われる。サイズは大きめでL1とL2中心。
	はまち		天然物の漁獲量が多く昨年から売れ具合が鈍く、今年に入ってもスタートで出遅れているため、安値で数量を動かすことが予想される。
物	新巻きさけ	やや高値	水揚げ自体は昨年並みだが、浜値は昨年より100円以上高値が続き、製品コストも高値だが、需要自体は落ち込んでいるため、安値販売を強いられる予想。
	味付数の子		大西洋系は昨年並み。太平洋系は水揚げ減や為替等の影響で高値推移となっている。
	いくら		水揚げは昨年並み。繰り越し在庫が少ないため加工場買いの部分で高値推移となっている。
	いか		水揚げは昨年より少なめで、価格は高め、サイズも小さめ。
	板かまぼこ		主原料の魚肉すり身の価格が高値で推移しており、製品価格も据え置き、又は若干の値上げ。
	ほたて	高値	昨年末の低気圧と今回の台風等の影響で、ほたてが減産となり、今後も数年の単位で高値が予想される。
	たらばがに		水揚げが少ないため。

平成27年度 年末年始における生活関連商品の需給動向・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
畜 産 物	輸入牛肉	前年並み	豪州産は現地の生体価格高を受け高値の推移。米国産は肥育牛の出荷がだぶついていることから現地相場は下がっているが、ロース、ヒレの上級部位は国産の品薄感やホテル関係の引き合いが活発とみられ、引き続き高値での推移が見込まれる。国産品の高値を受け輸入業者は季節品の肩ロース（スライス品）の販売を見込んでいたが、思ったほどの動きが見られないためチルド品の在庫はある程度潤沢と考えられ、価格は前年並みの見通し。
	輸入豚肉		冷凍品は中国がヨーロッパでの買いを強めている影響で、品不足・高値が予想される。チルド品は横ばいの見通しだが、国産品不足が価格に影響してくる可能性も考えられる。
	輸入鶏肉		国産品の品薄感から引合いは強いが、国内における在庫が若干多めに推移していることから前年並みと考えられる。クリスマス需要に向けたタイ産の加工品の需要が活発である。
	ロースハム		原料投入期には大幅な価格変動要因もなく、前年並みと思われる。ただ、荷動きについてはWHO（世界保健機構）の調査発表（加工品の発がん性リスク）の影響が懸念される。
	国産豚肉	やや安値	今後年末に向けて相場は上昇していくことが見込まれるが、PED（豚流行性下痢）の影響で高騰した昨年の枝肉相場と比べると、やや安値で収まると想定される。ただし、北海道産は商品確保難の状況が見られることから、部位によっては昨年以上の価格帯も考えられる。
	国産鶏肉	やや高値	品不足の影響が続いており、国内在庫は減少しているなか、生産量は昨年並みの見通しで、年末に向けても高値が継続される予測。ただ、品不足が続いたことにより、輸入品へのシフトも増えており、年明け以降は荷余りの可能性も否定できない状況。
	国産牛肉	高値	全国的に肉牛出荷頭数不足が継続しており、枝肉相場は高騰し続けている。12月の予想出荷頭数も昨年を下回っており（93%）、更なる高値での価格展開が想定される。

平成27年度 年末年始における生活関連商品の需給動向・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
その の 他 食 料 品	もち米	前年並み	大手需要者に対して、契約栽培による価格の安定化の取り組みを行っていること等により、末端価格は前年並みが見込まれる。
	パン		原材料価格や電力費の上昇に加え、人件費の上昇も見込まれるが、消費者の節約志向は根強く、前年並みの見込み。
	ラーメン	やや安値	昨年の状況から大きく変化はない。店舗間の競争と消費者の低価格志向が継続されている。販売価格が横ばいの中、28年度は輸入小麦の価格は下降気味だが、副原料や輸送費等が上昇しており、厳しい内容は続く。
	黒豆	やや高値	作付面積は前年とほぼ変わらず、供給量も安定しているが、皮切れ等の少ない良い製品の供給量がやや少ないことから前年よりやや高値が見込まれる。
	鶏卵		需給バランスは引き続き堅調に推移すると見込まれることから、年末年始の相場は前年を上回って推移するものと見込まれる。
	生そば		原料が高騰しているが、販売価格にそのまま反映できずにいるのでやや高値となっている。
	小麦粉		今年4月に政府の小麦売り渡し価格が上昇したことに加え、電力費等のコスト上昇等により、輸入小麦・国産小麦共にやや高値で推移しているが、今年10月の政府の小麦売渡価格の引き下げに伴い、来年1月には値下げ実施の見込み。道内小麦は収量前年並み。
そば粉	高値	輸入そば粉の高騰により高値。道内産そば粉は前年並みに採れているが、補助が減少しているため価格に反映し高値。	

平成27年度 年末年始における生活関連商品の需給動向・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
石 油 製 品	プロパンガス	前年並み	輸入価格と為替の変動による影響があるが、現在のところ前年並みで推移すると見込まれ、供給量は確保されている。
	灯油	安値	原油供給量、製品在庫水準は過去5年間の平均を上回っており、供給の面に関しては問題はない。
	レギュラー ガソリン		原油供給量、製品在庫水準は過去5年間の平均を上回っており、供給の面に関しては問題はない。
	軽油		原油供給量、製品在庫水準は過去5年間の平均を上回っており、供給の面に関しては問題はない。